

【担当教員名】 押木利英子 立石 学	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<一般目標：GIO>

発達障害に対する理学療法を実践するために必要な治療理論と原理を学ぶ。
発達障害児の評価、問題点、治療プログラムの作成・治療法を学習する。

<行動目標：SBO>

1. 発達障害児に対する理学療法の治療理論が説明できる。
2. 各種治療法の概要とその適応について説明できる。
3. 発達障害をきたす疾患の評価と治療の概略が説明できる。
4. 発達障害児の生活環境を考慮し、その対応が考案できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法
1	運動発達とその病態	1	講義、ビデオ 押木
2	運動発達と姿勢反射	1	講義、ビデオ 押木
3	染色体異常・知的発達遅滞の評価と治療（1）	2.3.4	講義、ビデオ 押木
4	小児整形外科疾患の評価と治療（1）	2.3.4	講義、ビデオ 立石
5	低出生体重児の臨床と治療（1）	2.3.4	講義、ビデオ 押木
6	脳性まひ（1）	2.3.4	講義、ビデオ 押木
7	脳性まひ（2）	2.3.4	講義、ビデオ 押木
8	期末試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	理学療法評価法	松沢 正	金原出版	2003年	6200円+税
	小児の理学療法	河村光俊	医歯薬出版	2002年	3800円+税
参考書	写真で見る乳児の運動発達	木下孝子・中村 勇	共同医書出版	1998年	5500円+税
	基礎運動学 第6版	中村隆一・斉藤 博	医歯薬出版	2003年	6800円+税
	脳性麻痺の類型別運動発達	カレル&ベルタ・ボバス	医歯薬出版	2001年	2500円+税
その他の資料	プリント、その他				

【評価方法】 出席 小テスト 期末テスト その他	【履修上の留意点】 毎回、動きやすい服装（トレーニングウェア、スポン、その他）を準備しておく。
-----------------------------	--